

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

平成 31年 3月 25日

(宛先)狭山市長

団体名 Well-being Make  
所在地 (ウエルビーイングメイク)  
代表者名 尾崎憲子

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業 <u>行政提案型協働事業</u>
2 事業名	狭山市防災マップ多言語化事業
3 事業期間	平成 31年 6月 1日から平成 32年 2月 末日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	279,400円
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	近年、地震などの大規模災害が頻繁に発生している事と外国人居住者が増え続けていることを受けて、狭山市防災マップを英語、中国語、タガログ語、やさしい日本語の4言語で表記し、多言語化する。
7 添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input checked="" type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 Well-being Make(ウェルビーイングメイク)

1 事業名	狭山市防災マップ多言語化事業
2 事業の詳細	<p>近年、日本全国で大規模災害が発生しており、いつ、どこで、どんな災害が起こるか、予測不可能な状態が続いている。外国人居住者が増え続ける一方で、地震を知らない(または体験した事が無い)外国人は多く、防災に対する情報を広め、意識を高める必要がある。</p> <p>狭山市の防災マップを英語、中国語、タガログ語、やさしい日本語の4か国語表記にし、防災を周知させる。</p>
3 実施体制	表記予定の外国語と日本語の両方が堪能なスタッフを配置することが出来る。
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】 多言語防災に力を入れている地域の情報収集を行い、防災マップのベース作りに協力する。出来たものをより読みやすいように多言語化する。</p> <p>【市の役割】 多言語化する前の段階であるベース作りに力を入れて頂き、共に作成に取り掛かりたい。</p>
5 協働の効果	市と協働で行う事により、外国人居住者の国籍や言語など、作成にあたり必要な情報をきちんと把握しながら、それを反映すること出来る。また、完成した後も広報に挿し込むなどし、確実に情報を届ける事が出来る。
6 事業のアピールポイント	多言語表記される事で、防災を意識する外国人が増え、防災への関心が高まる。また、多言語防災マップを通じ日本人側も外国人へ災害情報を周知する必要性を認識する事ができる。やさしい日本語を含めた多言語表記は、外国人の大人のみならず、外国籍の子供達や日本人の子供達にも防災情報を伝えることが出来る。